

八峰白神ジオパーク

連載 105回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係

☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203

HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>

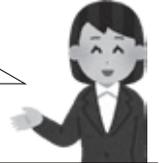


八峰中生がジオ学習

～ 町の魅力を考える ～

今回紹介するジオサイトは

「**発盛**鉱業所跡」です!!



【八峰中生がジオ学習】

10月11日、八峰中学校で、ジオパーク学習会が行われました。全校生徒を対象に、事務局員とガイドによるジオパークについての説明と、写真や動画をみながらのジオサイト（樫海岸の柱状節理など）の案内を行いました。

身の回りの景色があることには理由があり、梨などの特産品ができたことにも背景があります。そのような地域の自然環境や大地と暮らしのつながりを考えてもらいました。八峰中生の皆さんには、地球の不思議や仕組みを考え、ふるさとに自信をもち、町の魅力を伝える側になってもらえると嬉しいです。

八峰中生のみなさんの感想です。「何もないと思わずふるさとに自信を持ちたい」という感想が多くみられました。ありがとうございます。



メモを取りながら話を聞く八峰中生

行ったことがある場所でも、詳しいこと、ジオパークということは知らなかったのが勉強になった。

梨は、砂地という大地があるからこそ特産品になったことがわかった。

「ジオパーク内の自然に育てられた者」として生きていきたい。

👁️ ジオサイトを見に行こう! シリーズ 第5弾



↑ 当時の露天掘りの様子



↑ ブラックサンドビーチ

今月は「**発盛**鉱業所跡」を紹介します。

発盛鉱業所は、町の繁栄を支えていた鉱業所で、かつて金、銀、銅が取れていました。明治41年から明治45年までは産銀量の最盛期で単一鉱山の産銀量としては、日本一の産出量でした。

現在、発盛鉱業所が露天掘りをした跡地は、中央公園になっており、鉱業所の歴史を伝える場所として、43メートルあった大煙突の10分の1サイズのモニュメントと説明看板が設置されています。

中浜の海岸は、鉱業所の影響で黒い砂の砂浜になっています。発盛鉱業所では、「黒鉱」という黒い岩石から銅を取り出していました。溶鉱炉で黒鉱から銅を採ったあとの残った黒いカスは**鉱滓**（カラミ）と呼ばれます。そのカラミに水を吹き付けると砕けて細かい砂になります。その砂を海に流したことにより現在の黒い砂浜となっています。

また、カラミはレンガとして、民家の塀や土台などにも利用され、今も八森駅周辺などで見ることができます。